



# untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

## 神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

### contents

活動報告	— 宿泊集中セミナー —	..... 1・2面
	— 高齢研究委員会研修会 — 株式会社ピーターパン視察研修	..... 2・3面
	— 富士宮市視察研修	..... 3面
	— 保育研究委員会研修会 —	..... 4面
	— 関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会 総会・研修会 —	..... 4・5面
	— 平成28年度第2回総会・研修会 —	..... 5・6面
お知らせ	— 今後の予定・会員状況 —	..... 6面

## 活 動 報 告

### 宿泊集中セミナー

平成28年4月に発生し震度7を観測した熊本地震を踏まえ、本年度の宿泊集中セミナーでは総勢15名で被災地域の福祉施設や熊本城の被災状況などを視察いたしました。

平成29年1月24日、熊本市東区の社会福祉法人肥後自活団・大江学園を訪ね、神奈川県経営青年会有志からの義援金を西山会長よりお渡しいたしました。肥後自活団は明治25年に創設した熊本貧児寮に由来する歴史ある法人で、知的障害者福祉を運営されております。敷地には新旧の寮が多数ありますが、地震被害の大きかった体育館は未だに立入りできない状態でした。大江学園施設長の塘林敬規様は熊本県経営青年会会長と全国副会長も兼任されております。震災直後の各支援で最も早く物資を届けてくれたのが全国の経営青年会仲間であり、災害対策の協定に向けても動いているとの説明をいただきました。



西山会長から義援金の贈呈



健軍駐屯地での説明

午後は陸上自衛隊西部方面隊の健軍駐屯地を訪問、国防や災害派遣など自衛隊活動のPRを受け、健軍駐屯地の歴史なども学びました。

情報交換会では熊本県社会福祉協議会施設福祉課の岩永理恵子主事と、隣市の菊池市から社会福祉法人友朋会サニーサイドの宮崎嗣大施設長も駆けつけてくださり、熊本の郷土料理を楽しみながら親交を深めました。地震被害は地区により差が大きかったことや、被災後の復旧について聞かせていただきました。

翌 25 日の熊本城視察では崩壊した石垣や崩れ落ちそうな櫓を見学しました。熊本城公園にはナンバリングした石垣が整列しておりましたが復旧完了には 20 年かかる見通しで、技術面や資金面での課題も多いそうです。

午後は水前寺成趣園を訪問しました。地震により水前寺公園の大鳥居は倒壊し池も濁水したそうですが、鳥居は片付けられ、水位も復旧している様子が伺えました。

今回の企画を通して、震災復興に向けた熊本の人々の力強さを感じましたが、仮設住宅暮らしの方など、まだまだ日の当たらない状況で苦勞されている方もいるのでしょうか。全ての方が平穏な生活に戻れることを願ってやみません。

【研修委員長 栗田義晃】



熊本城

## 高齢研究委員会研修会

### ○ 株式会社ピーターパン視察研修

10月26日、高齢研究委員会では船橋の株式会社ピーターパンが経営する「ピーターパン石窯工房店」を視察いたしました。

私たち社会福祉法人は昨今「地域貢献」というテーマのもと公益性高める手法を模索している最中でもあります。



店舗前で記念撮影

ピーターパンではパンを購入すると、淹れたてのコーヒーが無料で付いてきます。私たちが視察に訪れた際も焼きたてのパンとコーヒーを楽しむ地域の方々とテラスは満席状態。また、店内には大橋珠生社長が明確にターゲットと語る 30代～40代の主婦と見受けられるお客様が続々と入店しては焼きたてのパンを購入していました。店内は香ばしい焼きたてパンの香りと活気で溢れ、行きつけのお得意様はお気に入りのパンをトレーに次々乗せていきます。

またピーターパンでは焼きたてを提供するため 2 時間経過したパンは店頭から引くという徹底ぶり。パンが焼きあがるとスタッフが「〇〇パンが焼きあがりましたので、今、手に取ったパンがありましたら焼きたてとお取り替えします！」と言って新しいパンと交換して差し上げます。店内でその様子を見ていた私は実に気持ちのいいそのホスピタリティに感動しているそのお客様の顔を見て、経営の原点と

してよく言われる「損して得取れ」という言葉が頭に浮かびました。

「お客さまを笑顔とおもてなしの心でお迎えし、常に品質を向上させ、おいしい焼きたてのパンを提供します。一人ひとりの可能性を尊重し、共に学び共に成長し、お客さまと共に幸せになります。」

このように掲げられたピーターパンの理念は、私たち介護事業者にとってもまったく同じことが言えます。おもてなしの心で迎え、介護のクオリティを担保しつつ、良質な介護サービスを提供する。そして一人ひと

りの可能性を尊重し共に成長する。そして最後に、お客様と共に幸せになる。私たちは同じようにお客様に真剣になれているだろうか。そのマインドはきっと私たちがこれから求められる地域包括ケアや社会貢献の原点でもあるように思いました。今回の研修の中で、示唆に富んだ大橋社長ならびにピーターパンから受けた学びを生かすも殺すも私たち次第です。

私たち介護事業者に出来ることを諦めず、常に社会への貢献というミッションを視野に入れつつ、制度だけにとどまらない事業展開の必要性をあらためて考えさせられた、実に有意義な視察研修となりました。

【高齢研究委員 馬場拓也】

## ○ 富士宮市視察研修

平成 29 年 2 月 16 日に西山会長はじめ 7 名で静岡県富士宮市を訪問いたしました。

富士宮市は「認知症になっても、変わらない生活ができるまち」を目指して、行政、医療施設、介護施設、地域住民、学校、一般企業が一体となり、認知症の方を見守り支えるシステムを構築しています。このシステムは富士宮方式と呼ばれ、日本国内だけでなく、海外からも注目されています。

まず、十六市というイベントを見学させて頂きました。そのイベント開催日に富士宮駅前にあるホテルのレストランで認知症カフェを開催していました。認知症当事者と家族が、同じ疾患を抱えながらも前を向いて歩んでいる人との出会える環境づくりをしたいという思いから始めたとのことをお話を伺いました。



認知症カフェ



講義風景

富士宮市では、医療、福祉の枠にとらわれることなく銀行、コンビニ、タクシー会社などの一般企業の職員が認知症サポーター養成講座を受講するなどして、地域全体で「見守る目」を養成することに力を入れていました。

また、認知症当事者がキャラバンメイトの資格を取得して認知症サポーター養成講座の講師をすることもあるそうです。認知症に対する誤解をなくし、理解を深める様々な取り組みをしていました。

富士宮市の取り組みについて動画を見せていただいた中で、富士宮市にお住いの認知症の方が作った「認知症 それはどうした オレはオレ」という標語が、富士宮市での生活のしやすさが表されているようでとても印象的でした。

【高齢研究委員 平本秀真】

## 保育研究委員会研修会

去る平成 28 年 11 月 24 日（木）、神奈川県社会福祉会館 4 階第 1 研修室において、平成 28 年度保育研究委員会研修会を開催しました。今回は日本保育協会青年部と共催で開催をし、当日は雪にもかかわらず、24 名の方々にご参加いただきました。講師には、長崎県のおひさま保育園園長の吉岡伸太郎氏を迎え、「社会福祉法人制度改革～何が違って、何をやる？～」というテーマで講演をしていただきました。

今回、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性向上、財務規律の強化等を目的とした社会福祉法人改革の内容や意図をわかりやすく説明していただき、その中で定款の変更についても国の示す社会福祉法人定款例を見ながら、変更のポイントを具体的に教えていただきました。2 時間 30 分という限られた時間の中で、なるべく多くの質問にも答えていただき、とても有意義な研修となりました。

最後になりましたが、今回ご参加いただいた皆様、講演して下さいました吉岡先生をはじめ、当日まで色々と準備等でご協力いただいた大関氏や経営青年会の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【保育研究委員長 渡邊高幸】



講義風景

## 関東甲信越静ブロック青年経営者会 総会・研修会

平成 29 年 2 月 9 日（木）～10 日（金）、東京都浅草において、平成 28 年度関東甲信越静ブロック社会福祉法人経営青年会 総会・研修会が開催されました。およそ 170 名の参加者が集い、神奈川県からは 10 名参加致しました。初日は講演 1「社会福祉の大前提～「公助」を支える国民共同体意識とは～」(麗澤大教授 八木 秀次氏) 講演 2「この国のゆくえ～青年経営者に期待すること」(作家 元東京都知事 猪瀬 直樹氏) 講演 3「私の子育て奮闘記～子育て支援について思うこと～」(元女優 大塚 ちかこ史氏) の 3 講演が行われました。講演 1 では、日本の社会福祉が持続可能性を持つためには、国民一人ひとりの歴史的共同体としての国家への愛着、帰属意識、貢献意識、同法意識が必要ではないか？という問題提起のもと、国家論の歴史を紐解き、多面的に考察し、社会保障の源流と変遷について丁寧にご講義頂きました。講演 2 では、今話題の東京五輪、豊洲移転問題について、内情と課題を赤裸々にご講義頂きました。歯に衣着せぬ発言に圧倒されながらも、「そこから教訓を得て、皆さんのような若者と一緒に未来を作りたい。情報は待つのではなく、SNS を駆使して自ら収集しなくては駄目だ。」という話が印象的でした。講演 3 では、講師ご自身が栄養学を学び体質改善を行い、長女のアトピー性皮膚炎を完治されるまでの具体的取り組みをご講義頂きました。子供にとっても、高齢者にとっても栄養バランスのとれた食事は健康な精神と心も育むことができる、楽しい食事の記憶はいつまで忘れず、栄養、カロリー、それ以上に幸福感に直結する大切なものだ、との実体験に基づく熱いお言葉に重みがありました。いずれの講師もメディアに度々登場される方ばかりで、それぞれ興味深い内容の濃い講演でした。



活動報告風景

講演後の情報交換会では、東京都出身の姉妹ユニット「葵と楓」の可

愛らしくも力強い三味線ライブや、地元浅草の振袖さんの舞いを堪能し、各都県の会員との交流を深めることができました。

2日目は「2020年を見据えて東京オリンピック・パラリンピックの概要と開催に向けた東京都の取組」と題し、東京都オリンピック・パラリンピック準備局 統合調整部 大会広報・企画担当課長 矢嶋浩一氏に講演をしていただきました。2020年に開催を控えている東京都の取組として競技施設の場所やボランティアの募集、交通標識の変更などといった世界を受け入れる体制を今から見据えて様々な工夫を凝らしているのが伺えました。オリンピック・パラリンピックが楽しみになってくる講演でした。

最後に総会・各都県の活動報告を行われました。2日間という短い期間でしたが、各都県の方々との交流が深まり有意義な時間を過ごせました。

【副会長 井田友花・甘利悟】

## 平成28年度第2回総会

平成29年2月21日(火)14時30分から神奈川県社会福祉会館にて、平成28年度第2回総会が開催されました。

最初に会長からあいさつがあり、敬寿会の金澤敬祐氏を議長として次の議案が審議されました。

- 第1号議案 平成28年度収支補正予算(案)について
- 第2号議案 平成29年度事業計画(案)について
- 第3号議案 平成29年度収支予算(案)について
- 第4号議案 運営要綱の一部改正について
- 第5号議案 役員の改選について
- 第6号議案 その他

審議の結果、すべての議案が承認されました。

役員改選では、新会長に喜寿福祉会の田代鉄也氏が選任され、平成29年度から新たな体制で本会を盛り上げていくこととなります。なお、要綱の改正では、会長を退任され引き続き会員の資格がある方は役員にお残りいただくことも承認され、西山会長が直前会長として新体制に加わっていただくこととなりました。

【総務広報委員長 福原高洋】



総会風景

## 総会研修会

総会後の研修会では、株式会社ミノファーゲン製薬 代表取締役社長 宇都宮徳一郎様に「変化し、発展する」～祖父の理念を引き継ぎ、研究開発型企業を目指す～というテーマで講演していただきました。



宇都宮先生と一緒に記念撮影

宇都宮社長は1968年生まれで、私たち経営青年会とほぼ同世代です。玉川大学で語学を修了したあと1991年から英国・米国に滞在し、2000年に帰国してから大手医薬品メーカーのイーザイ株式会社に入社。2008年に株式会社ミノファーゲン製薬に入社し代表取締役社長に就任されました。御祖父にあたる故宇都宮徳馬様が1938年に創業してから70年目にあたり、代表取締役としては三代目にあたります。

御祖父の創業の思いや企業精神を大切に引き継ぎつつも、中国需要に

対応した海外展開など時代に合わせてグローバル化し、ニッチな領域でも薬品開発を行うなど変革を成し遂げてきました。

新しい取り組みに挑戦することで、企業も人も健全に成長していく。私たち社会福祉法人の青年経営者にとって共通項の多いお話でした。

【研修委員長 栗田義晃】

## お知らせ

### 今後の予定

予定されている研修会や大会です。詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
平成29年6月22日(木)	キャメロットジャパン	平成29年度第1回総会・合同研修会

### 会員状況

会員数 102名 法人数 73法人 (平成29年3月1日現在)

### 編集後記

おそらくこの号で広報誌をまとめる役目は最後となります。平成25年度から4年間8回発行し、本会の活動紹介や会員の拡大のため尽力させていただきましたがいかがだったでしょうか？毎回、その時の自分の思いを編集後記に記載してきましたが、再度見てみるとほとんどが本会や仲間の素晴らしさを綴っていました。社会福祉法人の経営は様々な点から厳しくなります。経営する側の悩みや苦しみは一層増えるでしょう。そんな時、同じような立場の同年代が集い、話をすることがいかに大切か、本会の重要性や素晴らしさを引き続きアピールしていきたいと思えます。(high-ocean)

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会

連絡先／〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2  
神奈川県社会福祉会館内

(福) 神奈川県社会福祉協議会  
福祉サービス推進部ライフサポート担当

電話：045-311-8753

Fax：045-320-4077